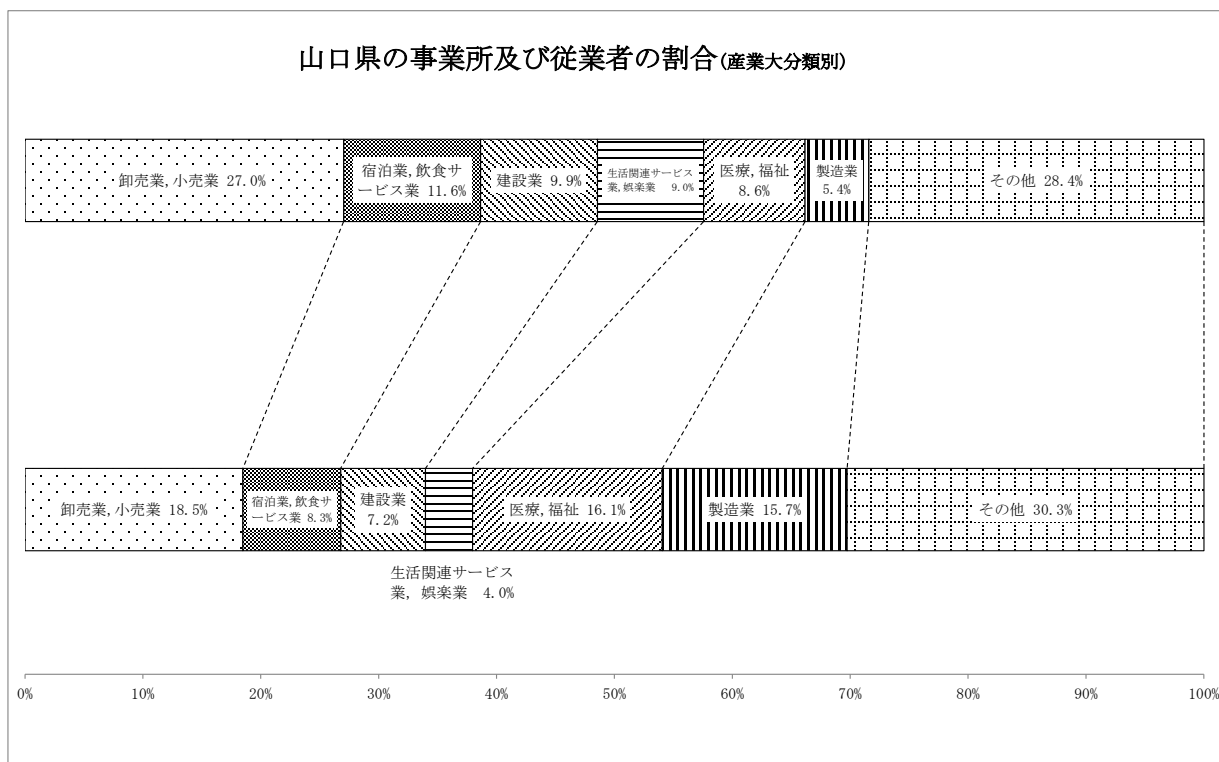


複数の統計調査を統合し、2009年に創設された「経済センサス」は、国内のすべての企業や事業所の状況や活動を把握するための統計調査です。この調査には、業種、従業者数など企業、事業所の基本的構造を明らかにする「基礎調査」と、売上などの状況を明らかにする「活動調査」の二つがあります。

調査の結果は、国内総生産（GDP）推計の基礎資料となるほか、行政機関の各種調査の基礎データや政策立案の資料として利用されています。また、企業でも市場規模推計などに活用されています。

昨年6月に実施された「基礎調査」の結果の速報が、先月末に総務省から公表されました。これによると、県内には約6万5千の事業所があり、約65万人が働いています。産業別では、「卸売業、小売業」が事業所数の27.0%、従業者数の18.5%を占め、いずれも1位でした。また、高齢化の進行を背景に、「医療、福祉産業」の従業者数の割合が16.1%と、09年の12.4%から大きく伸びています。

来年6月には「経済センサス - 活動調査」が実施されます。調査にご協力をお願いします。



出典：平成26年経済センサス - 基礎調査結果（速報）